

男女共同参画社会に関する職員意識調査(まとめ)

この調査は、豊明市職員の男女共同参画社会に関する意識と現状について把握し、今後の事業推進及びプラン改定の資料とするため平成23年1月7日～22日に実施したものです

合計		
男	女	計
167	390	557
人	人	人

問1 男女共同参画社会の言葉の認知度	合計		
	男	女	計
1 知っている	72.5%	51.9%	58%
2 言葉は聞いたことがあるが内容はよくわからない	25.1%	33.2%	31%
3 言葉を聞いたことがない	2.4%	14.9%	11%

平成17年実施職員意識調査との比較分析

区 分		理解して いる	聞いたこ とがある	聞いたこ とがない
全 体	H17	38.8%	50.5%	8.5%
	H22	58.0%	31.0%	11.0%
男 性	H17	46.0%	47.6%	4.8%
	H22	72.5%	25.1%	2.4%
女 性	H17	31.7%	53.4%	12.0%
	H22	51.9%	33.2%	14.9%

問2 次の言葉の意味の認知度	合計		
	男	女	計
1 ジェンダー	61.1%	41.8%	47.6%
2 エンパワーメント	19.8%	16.9%	17.8%
3 性同一性障害	86.2%	93.3%	91.2%
4 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	4.2%	4.4%	4.3%
5 ドメスティック・バイオレンス	88.0%	93.3%	91.7%
6 ワークライフバランス	49.7%	53.1%	52.1%
未回答(又は一つも知らない)	0.0%	1.5%	1.1%

問3 改善が必要だと思うもの(1つ)	合計		
	男	女	計
1 家庭、職場、地域にみられる男女間の不平等を改善する。	46.1%	47.9%	47.4%
2 男性と女性が、社会の中で果たす役割が違うと思う意識を改善する。	25.7%	29.0%	28.0%
3 女性が自治体等の政策決定に参加できるようクォータ制を活用する。	9.6%	8.5%	8.8%
4 報道等による男女の固定的役割の意識づけをなくすよう改善する。	13.2%	12.1%	12.4%
5 その他	5.4%	2.1%	3.1%

2件未回答

その他(自由記述)

無理に男女の平等化を図るより、女性の社会的地位を確立したいのならば、女性らしさを生かせる職種を増やしたり、家事育児に対しての報酬を与えることもよいと思う。気配り、平等化、堅実さは女性のほうが勝る。

男性・女性の区別以前に、個人個人の能力・適正が異なる点の理解

男性・女性が持つ特性を生かせる社会。

男女それぞれの意識改革及び教育

男・女という前に人として差別をなくしていくことが必要

単純能力主義

状況による

実現する必要はない

改善策はわからないが、少なくとも上記の選択肢は該当しない。

ムリ

なし

お互い様の意識を皆がもっと持てる教育。

問4 クォータ制の活用について(1つ)	合計		
	男	女	計
1 賛成	24.0%	16.7%	18.9%
2 どちらかといえば賛成	21.0%	33.6%	29.8%
3 どちらかといえば反対	12.6%	7.2%	8.8%
4 反対	16.2%	2.6%	6.6%
5 わからない	26.3%	40.0%	35.9%

問5 男女の地位が平等になっているか(1つ)	合計		
	男	女	計
1 そう思う	8.4%	1.3%	3.4%
2 おおむねそう思う	32.9%	21.0%	24.6%
3 あまりそう思わない	34.1%	47.4%	43.4%
4 そう思わない	10.8%	14.4%	13.3%
5 どちらともいえない	13.8%	15.9%	15.3%

問6 項目別男女平等意識		合計		
		男	女	計
家庭生活	・男性の方が優遇されている	9.6%	19.5%	16.5%
	・どちらかといえば男性優遇	35.9%	47.2%	43.8%
	・平等	29.9%	15.6%	19.9%
	・どちらかといえば女性優遇	9.0%	6.7%	7.4%
	・女性の方が優遇されている	4.2%	2.6%	3.1%
	・わからない	11.4%	8.5%	9.3%
職場	・男性の方が優遇されている	16.2%	19.2%	18.3%
	・どちらかといえば男性優遇	28.1%	34.4%	32.5%
	・平等	28.7%	23.6%	25.1%
	・どちらかといえば女性優遇	11.4%	4.1%	6.3%
	・女性の方が優遇されている	6.6%	1.0%	2.7%
	・わからない	9.0%	17.7%	15.1%
学校教育の場	・男性の方が優遇されている	2.4%	3.8%	3.4%
	・どちらかといえば男性優遇	7.8%	12.8%	11.3%
	・平等	69.5%	59.7%	62.7%
	・どちらかといえば女性優遇	2.4%	1.3%	1.6%
	・女性の方が優遇されている	3.0%	0.5%	1.3%
	・わからない	15.0%	21.8%	19.7%
地域活動の場	・男性の方が優遇されている	8.4%	12.1%	11.0%
	・どちらかといえば男性優遇	21.0%	27.9%	25.9%
	・平等	40.7%	27.9%	31.8%
	・どちらかといえば女性優遇	10.8%	7.4%	8.4%
	・女性の方が優遇されている	3.6%	2.6%	2.9%
	・わからない	15.6%	22.1%	20.1%
政治の場	・男性の方が優遇されている	23.4%	39.0%	34.3%
	・どちらかといえば男性優遇	29.9%	39.5%	36.6%
	・平等	34.7%	7.7%	15.8%
	・どちらかといえば女性優遇	1.8%	0.0%	0.5%
	・女性の方が優遇されている	0.6%	0.0%	0.2%
	・わからない	9.6%	13.8%	12.6%
法律や制度の上	・男性の方が優遇されている	4.2%	13.8%	11.0%
	・どちらかといえば男性優遇	16.8%	29.7%	25.9%
	・平等	55.7%	27.7%	36.1%
	・どちらかといえば女性優遇	3.6%	3.8%	3.8%
	・女性の方が優遇されている	4.8%	0.5%	1.8%
	・わからない	15.0%	24.4%	21.5%
社会通念・習慣・しきたり	・男性の方が優遇されている	24.6%	34.9%	31.8%
	・どちらかといえば男性優遇	44.3%	42.6%	43.1%
	・平等	18.0%	4.4%	8.4%
	・どちらかといえば女性優遇	3.0%	1.8%	2.2%
	・女性の方が優遇されている	0.0%	0.3%	0.2%
	・わからない	10.2%	16.2%	14.4%
社会全体	・男性の方が優遇されている	13.2%	15.9%	15.1%
	・どちらかといえば男性優遇	41.9%	57.4%	52.8%
	・平等	26.3%	8.2%	13.6%
	・どちらかといえば女性優遇	6.6%	3.1%	4.1%
	・女性の方が優遇されている	0.0%	0.0%	0.0%
	・わからない	12.0%	15.4%	14.4%

問7 男女が平等な社会を実現するために必要なこと(3つ)	合計		
	男	女	計
1 女性の知識・教育の向上	12.0%	13.8%	13.3%
2 女性の経済力の向上	17.4%	41.8%	34.5%
3 女性の政治・行政への参加	15.6%	18.7%	17.8%
4 女性の自覚と責任感の向上	45.5%	32.6%	36.4%
5 男性の意識の改革	53.9%	61.5%	59.2%
6 法律や制度上の改正	13.2%	25.4%	21.7%
7 しきたりや習慣の改善	46.1%	43.3%	44.2%
8 子どものころからの男女共同参画の徹底	28.1%	39.7%	36.3%
9 その他	1.2%	0.8%	0.9%
10 とくにない	10.8%	3.1%	5.4%

その他(自由記述)

男女で役割があることを知るべき。

家庭での躰

高齢者の意識改善

相手を、相手の行動を尊重できる心を育む

ムリ

問8 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきについてどう思う	合計		
	男	女	計
1 賛成	9.6%	1.5%	3.9%
2 どちらかといえば賛成	29.3%	24.4%	25.9%
3 どちらかといえば反対	18.0%	31.5%	27.5%
4 反対	14.4%	21.5%	19.4%
5 わからない	28.7%	21.0%	23.3%

問9 家事・育児・介護の役割について		合計		
		男	女	計
家事	・女性がするもの	9.6%	3.8%	5.6%
	・男性も積極的に協力	43.7%	54.6%	51.3%
	・男女が対等に協力	40.1%	39.0%	39.3%
	・男性がするもの	0.0%	0.3%	0.2%
	・その他	6.6%	2.3%	3.6%
育児	・女性がするもの	9.0%	1.3%	3.6%
	・男性も積極的に協力	47.9%	58.5%	55.3%
	・男女が対等に協力	37.1%	39.0%	38.4%
	・男性がするもの	1.2%	0.0%	0.4%
	・その他	4.8%	1.3%	2.3%
介護	・女性がするもの	3.6%	1.0%	1.8%
	・男性も積極的に協力	40.1%	41.5%	41.1%
	・男女が対等に協力	49.7%	55.1%	53.5%
	・男性がするもの	0.0%	0.8%	0.5%
	・その他	6.6%	1.5%	3.1%

問10 家事・育児・介護に関わる時間		合計		
		男	女	計
家事	・全くしない	15.6%	5.6%	8.6%
	・30分未満	26.9%	5.4%	11.8%
	・30分～1時間未満	29.9%	7.4%	14.2%
	・1時間～3時間未満	20.4%	35.4%	30.9%
	・3時間～5時間未満	6.0%	31.0%	23.5%
	・5時間以上	1.2%	15.1%	11.0%
育児	・全くしない	15.6%	12.8%	13.6%
	・30分未満	7.2%	1.3%	3.1%
	・30分～1時間未満	10.2%	3.8%	5.7%
	・1時間～3時間未満	10.8%	6.4%	7.7%
	・3時間～5時間未満	8.4%	7.2%	7.5%
	・5時間以上	2.4%	6.9%	5.6%
	・該当する家族はいない	45.5%	61.5%	56.7%
介護	・全くしない	21.6%	16.7%	18.1%
	・30分未満	3.6%	1.0%	1.8%
	・30分～1時間未満	4.8%	2.8%	3.4%
	・1時間～3時間未満	1.8%	3.3%	2.9%
	・3時間～5時間未満	1.8%	0.8%	1.1%
	・5時間以上	0.6%	1.8%	1.4%
	・該当する家族はいない	65.9%	73.6%	71.3%

(家事・自由記述)

どちらということなく、できる人がやればよい
 気がついた方がやればよい
 できる人がやればよい。
 話し合ってやれることをやる
 男・女関係なく、できる人がやればよい。
 内容により上手く処理できる方がすれば良い
 男女の特性を生かして協力し合う
 家庭の状況により様々だと思える
 女性も今は、資格や正職で働いているので協力し合うべきだと思う。

(育児・自由記述)

どちらでも良い
 夫婦間で決めればよい。
 話し合ってやれることをやる
 子供の成長によって変わる
 お互い協力してやればよい。
 状況による
 男性でも女性でも生計を立てている状況により役割分担をすべき。
 できる方がする
 母性・父性の役割が必要
 男女の特性を生かして協力し合う
 家にいる人がする
 女性も今は、資格や正職で働いているので協力し合うべきだと思う。
 出来る者がする

(介護・自由記述)

力仕事、相手の性別によって仕事を分ける
 どちらでも良い
 自分の親は自分です
 夫婦間で決めればよい。
 性別でするものではない。
 話し合ってやれることをやる
 家族全員が積極的に協力すべき。親戚一同
 家族が生活するために必要な仕事全体から考慮して負担が対等になるようにすればよい。
 状況による
 男性でも女性でも生計を立てている状況により役割分担をすべき。
 できる方がする
 性別に無関係
 やれる人がやる
 男女の特性を生かして協力し合う
 家にいる人がする
 女性も今は、資格や正職で働いているので協力し合うべきだと思う。
 出来る者がする

問 1 1 女性と男性の仕事の能力差		合計		
		男	女	計
男性が上位 (A)	・仕事に対する意欲・責任	18.0%	15.1%	16.0%
	・企画、立案能力	12.6%	12.6%	12.6%
	・交渉、折衝能力	26.3%	27.7%	27.3%
	・協調性	10.2%	2.3%	4.7%
	・サービス意識	3.6%	1.0%	1.8%
	・統制力	40.1%	40.0%	40.0%
	・決断力	34.1%	29.7%	31.1%
	・正確性	6.6%	4.9%	5.4%
女性が上位 (B)	・仕事に対する意欲・責任	3.0%	0.8%	1.4%
	・企画、立案能力	4.2%	2.1%	2.7%
	・交渉、折衝能力	3.6%	2.3%	2.7%
	・協調性	11.4%	24.9%	20.8%
	・サービス意識	29.9%	32.6%	31.8%
	・統制力	1.2%	1.5%	1.4%
	・決断力	3.6%	3.8%	3.8%
	・正確性	14.4%	8.2%	10.1%
差はない (C)	・仕事に対する意欲・責任	71.9%	78.2%	76.3%
	・企画、立案能力	78.4%	73.1%	74.7%
	・交渉、折衝能力	62.9%	55.9%	58.0%
	・協調性	73.7%	64.1%	67.0%
	・サービス意識	62.3%	59.7%	60.5%
	・統制力	50.3%	46.4%	47.6%
	・決断力	56.9%	56.4%	56.6%
	・正確性	76.6%	77.7%	77.4%
わからない (D)	・仕事に対する意欲・責任	7.2%	5.9%	6.3%
	・企画、立案能力	4.8%	12.3%	10.1%
	・交渉、折衝能力	5.4%	14.9%	12.0%
	・協調性	4.8%	8.7%	7.5%
	・サービス意識	4.2%	6.7%	5.9%
	・統制力	8.4%	12.1%	11.0%
	・決断力	5.4%	10.0%	8.6%
	・正確性	2.4%	9.2%	7.2%

問 1 2 男性と女性の育児・介護休暇		合計		
		男	女	計
男性の育児休業	・積極的に取得した方がよい	31.1%	42.3%	39.0%
	・どちらかといえば取得すべき	38.3%	37.7%	37.9%
	・どちらかといえば取得しない方がよい	10.8%	3.6%	5.7%
	・取得しない方がよい	3.0%	0.8%	1.4%
	・わからない	16.8%	15.6%	16.0%
男性の介護休業	・積極的に取得した方がよい	35.9%	50.3%	46.0%
	・どちらかといえば取得すべき	43.7%	34.6%	37.3%
	・どちらかといえば取得しない方がよい	6.6%	2.3%	3.6%
	・取得しない方がよい	0.6%	1.0%	0.9%
	・わからない	13.2%	11.8%	12.2%
女性の育児休業	・積極的に取得した方がよい	52.7%	77.2%	69.8%
	・どちらかといえば取得すべき	33.5%	17.4%	22.3%
	・どちらかといえば取得しない方がよい	2.4%	0.0%	0.7%
	・取得しない方がよい	1.8%	0.5%	0.9%
	・わからない	9.6%	4.9%	6.3%
女性の介護休業	・積極的に取得した方がよい	43.7%	60.3%	55.3%
	・どちらかといえば取得すべき	41.3%	31.3%	34.3%
	・どちらかといえば取得しない方がよい	1.8%	0.3%	0.7%
	・取得しない方がよい	1.2%	0.8%	0.9%
	・わからない	12.0%	7.4%	8.8%

問13 イクメンって言葉を知ってますか？	合計		
	男	女	計
1 知っている。	84.4%	92.3%	89.9%
2 知らない。	15.0%	6.9%	9.3%

4名未回答

問14 育児休業と取らない理由	合計		
	男	女	計
1 職場に迷惑をかける	56.9%	66.2%	63.4%
2 忙しくてとれそうにない	31.7%	41.3%	38.4%
3 前例がない	16.8%	23.8%	21.7%
4 取得しにくい雰囲気がある	34.7%	57.9%	51.0%
5 取得すると収入が減る	26.3%	42.1%	37.3%
6 その他	4.2%	2.8%	3.2%
未回答	0.6%	1.8%	1.4%

その他（自由記述）

育児について何も知らないので役に立てない。家事をしていると無職だと偏見で見られそう。

流行に乗っていきそうで嫌だ。ママ友になれないので、子どもに迷惑がかかる。母乳が出ないなど。

専業主婦がいた

雇用者に良く思われない

職場から離れることに不安がある。

母親の方が育児休業を取得したから

協力できる時期、協力できる事など色々だと思う。また、母親の仕事、父親の仕事にも関係してくると思う。

家庭内で日中、自分がしなくてもよいと決まれば、取得の必要はないから。

父親は、仕事に専念したほうがよい

臨職には、育児休暇を修得できる制度がない。

状況による

育児は妻＝母親の役割で、自分が仕事を休んでとる必要はない。なれない育児よりなれた仕事の方がいい。

他の家族に任せることができる

仕事の責任が果たせない

会社の上の方の人の理解がぜんぜん足りないと思う

取得することなく育児の協力体制が取れれば無理に取得する必要を感じない

出世に影響する

自分の評価が下がるかもしれないと思う

無収入になる。生活保障は、まったくない。

問15 行政が取り組むべきこと(3つ)	合計		
	男	女	計
1 政策や方針決定過程への女性の参画を拡充する	31.1%	27.4%	28.5%
2 就労における男女の機会均等や就業環境の整備を進める	53.3%	66.9%	62.8%
3 子育て、介護に対する多様な支援を充実する	62.3%	74.6%	70.9%
4 男女共同の視点に立った教育や学習を進める	35.9%	30.3%	32.0%
5 女性に対する暴力を根絶するための支援の推進	12.0%	10.8%	11.1%
6 女性のための相談の充実	6.6%	7.7%	7.4%
7 男女の仕事と家庭・地域活動との両立を支援する	50.3%	67.2%	62.1%
8 その他	3.6%	1.3%	2.0%

その他(自由記述)

女性管理職をムリクリ作らない

男女の実力差がなくなれば自動的に推進されていくのでは。

行政のトップが自ら行動する

女性の給料面も男性と同様にする

古い考えかも知れませんが、女性らしさ、男らしさ、という本質的なものは大切にしたい

状況による

よくわからない

男女共同参画を地域で醸成させる取り組みが必要

自然に任せる

ムリ

問16 男女共同参画を推進するための次の制度を知っていますか	合計		
	男	女	計
1 男女共同参画社会基本法	43.1%	25.6%	30.9%
2 男女雇用機会均等法	84.4%	74.1%	77.2%
3 配偶者の暴力の防止及び被害者の保護に関する法律	33.5%	41.8%	39.3%
4 愛知県男女共同参画推進条例	15.6%	12.1%	13.1%
5 豊明市男女共同参画プラン	55.1%	30.5%	37.9%

問17 男女共同参画の推進について、自由意見をご記入下さい	合計		
	男	女	計
記載あり	6.6%	6.2%	6.3%

政策が打ち出されたり、法が整備されても今までの慣習や意識が残っているので子ども達の教育の場で、少しづつでも改善されてゆくと良いのではと思う。

全てにおいて男女平等は難しいと思う

出産が女性にしか出来ない限り、差別ではなく「区別」なくならないと思います。

男女の役割が分かった上で、平等に参画するのは良いことです。

性別による能力の違いはあると思いますので、それぞれの能力を最大限に生かせる社会が理想です。

核家族になり各家庭ごとに援助してほしいことが違うと思う。難しい...

根付いた意識を変えることは、簡単なものではないので、子供の頃からの男女共同参画に関する学びの場を設けることがまず大切だと思う。現状できることをしていくことももちろん大切だが、10年後、20年後に真に男女共同参画社会に近づけるような整備をしていくことが、何よりも大切だと思う。

男女共同参画でも、母親が子供にとって必要な時期もあることを、行政が学習し推めていって欲しい。

男女は社会で平等に扱われるべきであると思うが、子育てにおいては女性(母性)(母親)の存在が子どもにとってはとても大きいので、未来を担う子ども達のためにも子育て中の女性も働き易く、働き続けられる環境を作してほしい

男性の育児休暇を短い期間でも義務化する等、必ず全員が取得できるようにしたいと思います。

男女ともに育児休暇を取得しやすい環境がほしいです。公務員は育児休暇が取りやすいと言われますが、今の職員体制(育児休暇中の産休代替職員の補充がない)では、まわりの職員も取得することを良く思わず、取得しにくいです。

市外の住民でもあり、説明されたこともなく深く考えた事はありません。

今まで全く知らなかったので、いろいろな制度の取り組みをもっとたくさんの人に分かりやすくお知らせできたら良いと思いました。

広報などで言葉をみたり聞いたりしているが、具体的内容があまり知られていないように気がします。

現在の日本の社会、習慣から言ってまだまだ企業などの協力体制が整っていない。

豊明市自体考えが古く、新しい事を受け入れようとしない傾向がある。独自性を持って取り組むようにしてほしい。

人間には持って生まれた特徴(特性)があり、それぞれを良いほうに生かせば良い。性別による特性も無視できない。男女それぞれが自分の特性を理解したうえで協力し合えば良い。お互いに理解しがたい部分もあるが、積極的な意見交換は必要であり理解し合う努力はしなくてはならない。こうでなくてはならないと決め付ける必要は無い。DVは心の弱い病的な症状の現れであると考えるが、社会的・経済的に追い詰められると発症し易いのではないか。

少子化の為介護にたずさわる人が女性ばかりとは限らない、働きながらだれでも介護に参加できるような社会、職場の理解がえられるようなしくみであるような制度作りをしてほしい。

問11における性による能力差は、何をしようとしている問いなのかかわからない。問15にいう教育の機会が均等であり、性差を意識しない教育が施されれば、能力は、性差ではなく個人差であることに気がつくはずである。故に、問4のごとく女性の管理職を割り当てるなどということを見ると、それは能力による登用という状況を否定することにつながるし、女性に向けた部署などということを考える不屈きな考えが生じてくるかもしれない。

私達の年代にとって男女共同参画推進は、大変うれしいことですが、男性・女性共に知識の向上、責任感の自覚を供った事が大切だと思います。。男女平等ばかりの型にとらわれず、男性・女性の意識をもって行動することは必要だと思います。

・男女共同参画の意識は高いが(頭では理解しているが)現実との差が大きいと思われる。啓発をしてすくぐに効果が出るものではないため地道であるが、継続して啓発をお願いしたい。職員が育児休暇を取得しても他の職員に負担等にならないような職場環境をお願いしたい。

能力がある方が政策策定等に参画できる方が良いかと思います。そういう意味でクォータ制には反対です。もちろん男性が女性より優れているとは思いませんよ。

働きたい、社会に出て貢献したい、再就職したい、家庭があっても仕事をしたいなど女性の相談や支援をするシステムが充実するとよいと思います。

行政が自らその模範を示し、広報する先進者として、斬新に推進するべきだと考える。

不況下では、難しい。

一部の関心のある人が参加するというものではなく、市民全員が参加できるものを考えてほしいです。

クォーター制などを設けず能力ある者をどんどん登用すべきである

・共働きが普通にできるような、子育て・介護施策が十分に整備されていない。

・休暇をとっても生活ができるような施策も整備されていない。特に、派遣労働・パート労働を推進するような現在の政治姿勢では、何もせずに旗を振っているだけ。

行政が働きかけなくても、進んでいくような、施策推進が必要。そのためには、富の配分が図られるような、政

シングルマザーも増え女性の収入が安定するためにも、これからも各課でがんばって欲しい。
男女共同参画を推進するためには、職場での平等な取扱い等はもちろん必要であるが、家庭での家事、育児、介護他について男女ともに無理なく行えるような時間を保証する必要がある。男女が共同で仕事と家庭を両立させようとしても、仕事が忙しく家事、育児、介護他ができなかったり、仮に定時で帰宅しても、家事、育児、介護等をこなす時間があまりにも少ないので共同参画しづらい、できないということが多分にある。
男女関係なくひとりの人間として尊重される社会の確立が重要。男女共同参画は、その後についてくると思う。各企業に相談、問題解決の為に力のある女性の為だけのホットラインをもうけると良いと思う

問2のようなそれぞれの言葉の意味は知ってはいるし、その言葉自体は必要だと思う。一方で、男女共同参画自体の意味・目指しているものが解らない。

何をもって男女平等参画が達成されるのか不明です。

男女というか、人個々がハンディギャップ(性差・障がい含む)があっても、その人の能力に合わせて社会活動ができるのが、バリアフリーなのではないだろうか？

男女差別はよくないが、男女の区別が必要なことは多くあり、また得意不得意もあると思う。本来は男性の方が力が強く、育児は女性の方が向いているということもあると思う。女性の方が男性より柔らかい印象を与えたり、華やかになったり、男性の方が好まれる場合もある。得意分野をそれぞれがすればよいと思う。しかし、能力には個人差があるため、固定概念を押し付けたり、性別で差別することはよくないと思う。

男女の性差のみにとらわれず、個人の特性によって協力して育児や介護が行われることが大切。その選択ができる環境を整備してほしい